

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学血液内科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年 6月

福島県立医科大学医学部血液内科学講座 池添隆之

■ 研究課題名

播種性血管内凝固（DIC）を合併する多発性骨髄腫患者の臨床像を明らかにする研究

■ 研究期間

2023年6月から2024年3月

■ 研究の目的・意義

血液の腫瘍には時に、血管の中で無秩序に血が固まり、また直ぐにその血の塊が溶解されるといったことを繰り返す、播種性血管内凝固（DIC）という病気が合併します。白血病や悪性リンパ腫ではおおよそ10～30%の患者さんがDICを合併することがわかっており、これらの患者さんには血が固まることを防ぐおクスリを投与することで対応しています。

抗体を産生する血液細胞が腫瘍化した多発性骨髄腫は、白血病や悪性リンパ腫に次いで頻度の高い血液の病気です。おそらく、多発性骨髄腫にDICが合併する頻度は決して高くないと予想されますが、その実態は明らかになっていません。この度、過去に福島県立医科大学附属病院血液内科で診断された多発性骨髄腫の患者さんの臨床データをカルテで確認して、この病気にDICがどの程度合併するのか、また合併した患者さんはどのような特徴があるのかを明らかにして、今後の治療対策を立案したいと考えます。

また、病院に保管されている骨髄の細胞や組織を用いて、DICがおきる原因も調べてみたいと思います。

■ 研究対象となる方

・2012年1月から2022年12月までの間に福島県立医科大学附属病院血液内科を受診し、採血検査と骨髄検査を受けて多発性骨髄腫と診断されたかたが対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、臨床病理学的因子、血液検査結果、治療内容、治療後どのような転帰をたどられたか、などの項目についてデータを収集します。

また、保存されている多発性骨髄細胞や組織に DIC の原因になるようなタンパク質が発現しているのかを血液内科学講座の実験室で調べます。具体的には組織因子というタンパク質を骨髄腫細胞が産生しているのか評価します。

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学血液内科学講座であり、研究責任者は福島県立医科大学血液内科学講座 池添隆之です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学血液内科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関に試料・情報を提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■ 試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部血液内科学講座 担当：池添隆之

電話：024-547-1193 FAX：024-547-1194

e-mail：hemato@fmu.ac.jp